

# 人物クローズアップ

## 不正検査せず それで成長

### ジャスト西日本(香川県坂出市)

阪神淡路大震災 (1995年)の倒壊現場を歩くうち、完全溶込みであるべき鋼管や梁の隅肉溶接部分が、部分溶込みで破断した箇所をいくつも目撃する。

「不良施工が建物倒壊の一因になっている」「検査はどうなっているのか」「こゝれではいけない」

1997年に起業したジャスト西日本(香川県坂出市)は、現在、97名にまで成長している。

「検査の実施時期が長くなると嫌う向きが今でもある。それは決していることではない。うちはしっかり仕事を伴う不正検査の実例と防止策。この社外活動は、構造物の健全性とともな、ひいては営業につながっているという見解だ。

「検査の実施時期が長くなると嫌う向きが今でもある。それは決していることではない。うちはしっかり仕事を伴う不正検査の実例と防止策。この社外活動は、構造物の健全性とともな、ひいては営業につながっているという見解だ。



社長の未包享さん

「検査に忠実なジャスト西日本」。それが評判を呼んでかどうかわからないが、ある建築現場で鉄筋継手の施工状態に違和感を感じた担当者が「ジャストを呼べ」といい、呼ばれて検査を実施したところ、不備が見つかり補修で工事が一ヶ月止まった。そんなこともあったという。

「検査の実施時期が長くなると嫌う向きが今でもある。それは決していることではない。うちはしっかり仕事を伴う不正検査の実例と防止策。この社外活動は、構造物の健全性とともな、ひいては営業につながっているという見解だ。

「検査の実施時期が長くなると嫌う向きが今でもある。それは決していることではない。うちはしっかり仕事を伴う不正検査の実例と防止策。この社外活動は、構造物の健全性とともな、ひいては営業につながっているという見解だ。」

「検査に忠実なジャスト西日本」。

「検査の実施時期が長くなると嫌う向きが今でもある。それは決していることではない。うちはしっかり仕事を伴う不正検査の実例と防止策。この社外活動は、構造物の健全性とともな、ひいては営業につながっているという見解だ。」